

薬事協会報

2024.1 No.251



公益社団法人 東京薬事協会



ソシンロウバイ（ロウバイ科）（東京都薬用植物園）

植物のある場所 草星舎前、民間薬原料植物区ほか

ロウバイのうち、内側の花被片まですべて黄色の品種です。満開時には樹全体が明るい黄色に染まり華やかなため、各地に植えられ親しまれている「蠟梅」の大半が、このソシンロウバイ(素心蠟梅)です。暖かい日はよく香ります。花言葉は、「慈愛」「優しい心」「先見」「先導」

謹んで新春の お慶びを申し上げます

公益社団法人 東京薬事協会

会長 中島 孝

明けましておめでとうございます。

昨年来、早い時期からインフルエンザの流行はありましたが、約4年にわたって世の中を混乱に陥れたコロナ・ウィルスはだいぶ収まってまいりました。

皆さま方におかれましては、日常に戻りつつある時間の中で、各社ならびに業界の発展にご尽力なさっていることと思います。



2024年の十干十二支は「甲辰（きのえ・たつ）」であります。「きのえ」は甲、乙、丙などの十干の第一位であり優勢であることを表す他、まっすぐ堂々とそそり立つ大木を表しているそうです。

「辰」は干支の中では唯一の架空の生き物である「龍（竜）」を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであります。この2つの組み合わせである甲辰は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良さを表しているのではないのでしょうか。

今年こそ勢いがあり、縁起の良い年になることを願いながら、変化を恐れず、新しい日々を、そして新しい年を大切に生きてまいりましょう。

当協会の事業は常設委員会の活動を根幹に、理事会の議決に基づき各事業が執行されています。現会員は医療用医薬品・一般用医薬品・生薬・試薬・製薬原料・化学工業薬品・加工食品原材料・医療機器等の製造、卸売販売及び輸入販売のほか各分野の業務受託業など、幅広く業態・業種・規模を超えた企業で構成されています。また、本町医薬品市場の歴史とその史料の収集、保存がされているのも当協会の特色であり、中央区民文化財40点(登録第83号)を所蔵しております。

また、当協会は平成24年4月に公益社団法人として認定移行し、業種・業態・規模を超えた会員で構成される特性を生かしてまいります。本年は薬学生を対象にした奨学金給付制度、健康寿命を延ばし介護が必要な人を減らす公開健康講座の開催、薬事知識の普及啓発のイベント、薬事講習会の開催、リーフレット・小冊子の配布等の公益事業を実施してまいります。

今後も地域社会における薬事知識の普及啓発及び薬事関係者に対する情報提供等を通じて都民の健康増進に寄与する事業を行って参ります。何卒、当協会への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

(日本理化学薬品株式会社 名誉会長)

新年のご挨拶

東京都保健医療局健康安全部長

藤井 麻里子



新年明けましておめでとうございます。

東京薬事協会の皆様には、日頃から東京都の保健医療行政に多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく5類感染症に移行し、大きな転換点を迎えました。都はこれまで、都民、事業者の皆様から多大な御協力を頂きながら、感染拡大防止の徹底と社会経済活動の推進の両立を進めてまいりました。貴協会の皆様におかれましても、感染症防止対策に取り組みながら、東京都薬用植物園の運営に御尽力いただくとともに、薬事講習会の実施など、さまざまな活動を積極的に進めていただいたことに心から感謝申し上げます。

団塊の世代が75歳を迎える2025年まであと1年となり、いよいよ超高齢化社会を迎えます。高齢者が、住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を推進することが求められています。中でも、在宅医療の提供や、一人一人が自らの健康管理を行うセルフケアは重要であり、地域社会における皆様方の活動が大きな支えとなります。引き続き、都民の健康の確保・疾病予防の一翼を担っていただくことを期待しております。

都民の保健医療の水準の向上を進めていくには、行政の取組だけではなく、日頃から都民の医療と健康を支える大きな力となっている皆様方との連携が重要です。今後とも、さらなるお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が、貴協会の皆様方にとって健やかで明るく、飛躍の年となりますようお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和6年東京薬事協会 新年賀詞交換会

令和6年1月5日（金）歴代会長の写真を飾った会場で、ご来賓、会員合わせて80名以上の皆さまにご参加をいただき、4年ぶりに飲食を伴う新年賀詞交歓会を開催いたしました。藤川副会長の司会進行で中島会長の挨拶に続いて東京都保健医療局 食品医薬品安全担当部長 早乙女 芳明様、警視庁中央警察署 坂井明德様、公益社団法人 東京都薬剤師会会長 高橋 正夫様 引き続きまして、日本製薬団体 連合会 理事長宮島俊彦様の乾杯のご発声をいただきました。



また、日頃より東京薬事協会及び地域社会のためにご指導・ご支援いただいております東京消防署堀留出張所長 向江勝巳様、日本橋一の部連合会会長の涌井恭行様、日本橋本町三丁目西町会町会長 岩井正雄様、日本橋本町二丁目自治会長 小西茂之様、日本橋本町四丁目東町会町会長 小林丈夫様をご紹介させていただきました。最後は金原副会長の三本締めにて中締めとなり、業界で最初の賀詞交歓会を滞りなく開催することができました。

本年もよろしくお願い申し上げます。



会場の様子

東京都保健医療局 食品医薬品安全担当部長 早乙女芳明様のご祝辞

皆さま新年あけましておめでとうございます。

東京都福祉保健局食品医薬品安全担当の早乙女でございます。東京薬事協会の皆さまには日頃より、都薬事行政に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、コロナ対策にて様々なご尽力をいただき重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスおよびインフルエンザやプール熱といった新たな感染症対策の手を緩めることはできません。そのためには良質な医薬品の情報は非常に重要であり、皆さまのお力が必要不可欠であり、引き続きご協力をお願い申し上げます。

本協会に置かれましては東京都薬用植物園の運営にもご協力いただき薬事講習会および薬学部の学生に対する奨学金の給付そして小池知事も出席しているよく知って正しく使おう OTC 医薬品普及啓発イベントなど都民のセルフメディケーションの啓発など積極的に活動していただきありがとうございます。今年も都民の健康医療水準の向上を目指した継続した活動をお願いしたいと思います。今後も更なるお力添えをお願いいたしたくよろしくお願いいたします。結びに東京薬事協会の益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



警視庁 中央警察署 署長 坂井明德様のご祝辞

皆さま新年明けましておめでとうございます。

平素は警察業務にご理解、ご協力ありがとうございます。今年も中央警察署では安心・安全な街づくりを目指して署員一丸となってがんばってまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

中央警察署もいざというときに備えて対策なり訓練を実施しているところでございます。

警視庁もこの 10 日で 150 周年を迎えることになり引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに本日参加されています皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。



公益社団法人 東京都薬剤師会 会長高橋正夫様のご祝辞

皆さま明けましておめでとうございます。

先ほどからの能登半島の地震の件は東京都薬剤師会としてどのように動いていけばよいのか対策を練っているところでございます。

東京薬事協会の皆さまにはひごろより我々が薬剤師として活動するためにいろいろ根柢の部分を支えていただいていることを改めて御礼申し上げます。

現在では医薬品不足の問題等や薬価のきり下げ等によってさまざまな影響を受けているところではございますが、医薬品を作るところでも問題が起きていると感じています。これからも同薬事に関する団体として我々の動きやすい状況になることを願っている状態です。 結びに本日参加されています皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。



江戸消防記念会による「江戸木遣り」



日本製薬団体連合会 理事長 宮島俊彦様の乾杯のご発声

皆さま新年おめでとうございます。

実は昨日、武見会長から招集をかけられまして、日本医師会長をはじめ、日本製薬団体連合会の岡田会長も出席して能登地震の被災地にどのような支援ができるのかという会議がございました。今のところ被災地からは消毒液のアルコールが足りないという要望がございました。

皆さまのところではドラッグロスや安定供給とか製薬メーカーは抱えてますが、今年は辰年ですから何とか解決のめどが立つと考えております。一方、少子高齢化で日本の人口も減少し、若い人も増えてこない状態で薬業も海外に市場を求めてきているようです。

結びに皆さま今年1年ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



令和6年 東京薬業四団体 新年賀詞交換会

東京薬業四団体（公益社団法人東京薬事協会、公益社団法人東京医薬品工業協会、一般社団法人東京医薬品卸業協会、東京都家庭薬工業協同組合）主催の新年賀詞交歓会が令和6年1月9日（火）12時よりザ・プリンスパークタワー東京「コンベンションホール」にご来賓、受賞者の方々を含め多くの方々を迎えて開催されました。

最初に主催四団体を代表して東京医薬品工業協会 宮本昌志会長の新年ご挨拶に続き、厚生労働大臣政務官 塩崎彰久様、東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長 早乙女芳明様からご挨拶を頂戴いたしました。

その後、令和5年度薬事功労受賞者祝賀行事では受賞者が紹介され、祝品の贈呈ののち、受賞者を代表してダイト株式会社 代表取締役 大津賀 保信様が謝辞を述べられました。

受賞者の皆様

旭日中綬章	ノボノルディスクファーマ株式会社	前代表取締役社長	オーレムルスコウ ベック様(欠席)
大旭日双光章	ダイト株式会社	代表取締役社長	大津賀 保信 様
厚生労働大臣表彰	大東製薬工業株式会社	代表取締役社長	福井 厚義 様



東京医薬品工業協会 宮本会長



司会の東京医薬品工業協会 松坂常務理事



厚生労働大臣政務官塩崎彰久様



東京都福祉保険局食品医薬品安全担当部長
早乙女芳明様



大津賀様の受賞者謝辞



受付の様子



東京薬事協会 中島会長の乾杯のご発声



会場の様子

令和5年度薬草収穫感謝の会」「公開健康講座」

令和5年11月5日（土）「薬草収穫感謝の会」と「公開健康講座」が東京都薬用植物園で開催されました。本イベントは、主催：（公社）東京薬事協会・（公社）東京生薬協会・本町生薬会・（公社）東京都薬剤師会、共催：東京都により開催されたものです。

① 感謝祭行事

② 公開健康講座

テーマ 「薬草と色」

時間 10:40～11:40

講師 三宅克典先生 東京薬科大学 准教授、薬用植物園 園長

③ 薬草園見学

当日は共催である東京都から東京都健康安全研究センター所長の吉村和久所長よりご挨拶をいただきました。その後主催者四団体を代表して東京生薬協会金原徳典最高顧問からの挨拶、そして三宅克典先生よりテーマ「薬草と色」の講座が開催されました。

公開健康講座(厚生講演会)のお知らせ

1. 日 時 : 令和 6 年 3 月 1 日 (金) 13:00~15:00 予定
2. 場 所 : 東京都薬用植物園研修室 (西武拝島線東大和市駅下車 2 分)
東京都小平市中島町 21 番 1 号 TEL 042-341-0344
3. 講演
講演 1 「元気な体を維持しよう」
講師【東京薬業健康保険組合 健康開発センター】
久米田 清美 先生 (保健師)、菱沼 尚子 先生 (管理栄養士)、池田 博子 先生 (健康運動指導士)

講演 2 「大切な人を守るくすりの知識」
講師【くすりの適正使用協議会】
難波 美穂 先生 (くすり教育・啓発委員会委員) 朝山 絵里 先生 (くすり教育・啓発委員会委員)
4. 会 費 : 無 料
5. 申込み方法 : FAX またはホームページからお申込みください。
6. 申込み先 : 東京薬事協会事務局 電話 03-3279-1300 FAX 03-3242-1994

令和 5 年度下期 第 170 回薬事講習会のお知らせ

令和 5 年度下期 第 170 回薬事講習会を下記の要領で開催いたします。会員会社ならびに関係者からの多数のご参加をお待ちしております。

演題 1 : 「東京都における製造販売業及び製造業の状況について」

演題 2 : 「医薬品研究科における医薬品分析について」

この薬事講習会は当協会の公益事業の一環として開催しているもので、非会員の方々にも広く参加を呼びかけております。定員になり次第締め切らせていただきますので、会員の方々は早めにお申し込みください。

参加のお申込は東京薬事協会ホームページの「各種申込」から可能です。

開催日時 令和 6 年 2 月 9 日 (金) 14:00~15:45 予定

場 所 薬業健保会館 6 階講堂 (千代田区永田町 2-17-2 TEL03-3581-1231)

・東京メトロ 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」

・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」



季節の花（東京都薬用植物園）スノードロップ（ヒガンバナ科）**有毒植物**

【東京薬業企業年金基金のお知らせ】

東京薬業企業年金基金に加入しませんか

従業員の老後資金を形成するため、企業年金制度を活用する企業が増えています。
東京薬業企業年金基金は、医薬品関連企業等約 650 社が加入する総合型の基金として、
従業員の皆さまのセカンドライフの安定と福祉の向上に寄与することを目的として設立された厚生労働省所管の団体です。

人生 100 年時代、ゆとりある老後生活を過ごすために必要なお金は、公的年金だけでは賅いきれません。
安定した老後の生活設計を立てるうえで、従業員の皆さまの福利厚生の一層の充実を図る選択肢の一つとして、是非とも基金加入をご検討されてはいかがでしょうか。

◆QR コードで詳細をご覧ください。



薬事協会報

発行 公益社団法人 東京薬事協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-4-18 昭和薬貿ビル

電話 03-3279-1300 FAX03-3242-1994

URL : <http://www.yakujikyo.or.jp>

E-mail: kusuri@yakujikyo.or.jp